

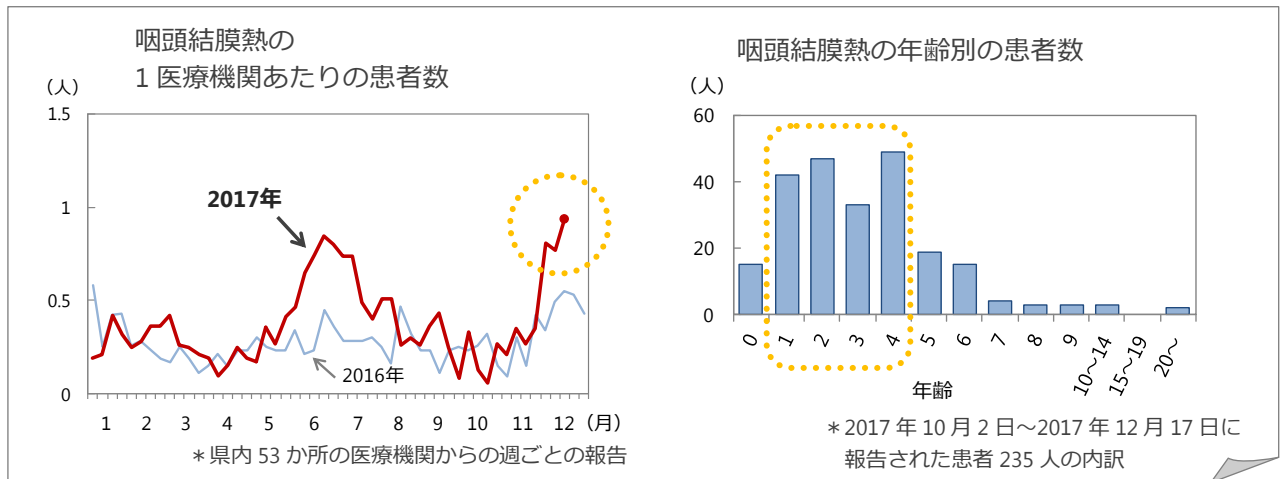
ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 12 月 22 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



今年の冬は、咽頭結膜熱が流行しています！

咽頭結膜熱は、プール熱とも呼ばれる夏かぜの一つですが、冬にも流行がみられます。今年、11月下旬から患者が急増しており、昨年と同じ時期と比べても多くなっています。特に小さいお子さんがかかりやすく、インフルエンザとともに注意が必要です。



どんな病気？

アデノウイルスによって起こる感染症で、5歳以下のお子さんに多くみられます。

感染してから5～7日後に、**発熱（39℃前後）**、のどの炎症（咽頭炎）による**のどの痛み**、目の炎症（結膜炎）による**目の充血や痛み**などの症状があらわれます。高熱が出る点は、インフルエンザと似ています。



どう感染するの？ 予防方法は？

原因となるアデノウイルスは、感染した人の鼻水や唾液、目やに、便の中に含まれます。咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、手指やタオルなどを介した**接触感染**により**鼻やのど**、**目**からウイルスが入り感染します。

予防には、**流水と石けんによる手洗い**が大切です。

その他、咳が出るときはマスクを着けること（咳エチケット）、目を拭くときは使い捨てのティッシュペーパーなどを使うこと、タオルを他の人と一緒に使わないことなども心がけましょう。



手洗いや咳エチケットは、インフルエンザの予防と感染拡大防止のためにも大切です



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

